

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学年全体の学習イメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 スケジュール・ルール確認・職員紹介・講師紹介 【到達目標】 年間のスケジュール管理ができるようになる 学則・内規等のルールを理解し、遵守の意識を持つ 学科職員や学校組織の構成を知る 学校の校舎や教室の使い方を理解する 【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について 教材理解 教科書理解 【到達目標】 年間の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ 就職活動についての具体的なじぶんのスケジュールを立てることができる 自身が今後使用するヘアやメイクの教材について把握し、使用方法が理解できる 奨学金制度などの奨学金サポート制度についても概要が理解できるようになる						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 出席評価とする			

科目名 (英)	相互支援演習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラスの相互支援関係を構築する							
【授業を通じての到達目標】							
クラスメイトと自然にコミュニケーションが図れるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 コミュニケーション技法①						
2	【到達目標】 ・グループワークの方法を学ぶ ・コミュニケーションゲームを通して相互理解を深める ・自己紹介を通して自己開示を進める						
3							
4							
5	【授業単元】 コミュニケーション技法②						
6	【到達目標】 ・ヘアメイクの調べ学習と発表を通じて、プレゼンテーション力を上げる ・異質なものを認めることができる ・自分自身を理解することができる						
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	国際教育	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	今井・吉田・及川・阿部
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
海外のヘアメイク技術を知り、知見を広げる							
【授業を通じての到達目標】							
海外で活躍するヘアメイクアーティストの実演を通して、ヘアメイクの幅を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 海外のヘアメイク事情						
2	【到達目標】 ・日本と海外のヘアメイクの違いについて調べ、学習や発表を通して理解を深める ・海外研修プログラムの概要を理解する						
3							
4							
5	【授業単元】 海外研修を理解する						
6	【到達目標】 ・ヘアメイク科で毎年行っている海外研修の内容を理解し、イメージを広げる ・昨年参加した先輩から話を聞き、学びを深める ・研修先の施設を調べ、どのようなプログラムが行われたのかを理解する						
7							
8							
9	【授業単元】 海外研修先のヘアメイクアーティストの技術実演①						
10	【到達目標】 ・海外研修先のロサンゼルスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる ・海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する ・日本との違いを学ぶ						
11							
12							
13	【授業単元】 海外研修先のヘアメイクアーティストの技術実演②						
14	【到達目標】 ・ロンドン、フランスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる ・国ごとの考えの違いや、顧客の違いを理解する ・海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する ・海外での学びの重要性を理解する						
15							
【特記事項】				【評価について】 出席評価とする			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 I (professional seminar I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 水3限 木2限・3限 金2限・3限
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>現場実習に行く為のヘアメイクに関する技術や知識を身につけ、対応できるようになる ヘアメイクアーティストに必要な色彩やファッション、テイストを知り、感性やセンスを磨くことが出来る 主たる講師:美容室で美容師として従事後、本校に入職。美容師科通信課程担当・ヘアメイク科担任を勤める (今井)</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>美容のプロになるために必要な業界知識や流れを理解し、ヘアメイクの分野に合わせたビジョンを組み立てることが出来る 目指すヘアメイク分野の業界を知り、方向性を見出すことが出来る</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時で配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	【授業単元】美容のプロを目指す上で必要な知識・マナーを学ぶ 教務部長挨拶 【到達目標】導入研修や入学式を振り返ることで目標の再確認が出来る 目標に向けてカリキュラムの必要性を明確化し理解することが出来る						
2	【授業単元】目標設定・発表 コミュニケーションゲーム 着付けサイズ確認 【到達目標】 目標設定を行うクラス内で発表共有する。クラス内でコミュニケーションゲームを実施し、安心して学べる環境を整える。					5点	
3	【授業単元】ヘアメイクの仕事・業界を知る GW過ごし方・課題共有 【到達目標】ヘアメイクの業種や分野を調べ、理解する。ヘアメイクになるための流れを理解し、方法を学ぶ。ヘアメイク事務所の調べ方を学び、業界の知識を深めることが出来る。所属しているアーティストの仕事内容、代表作、担当ヘアメイクを知り、理解することが出来る					5点	
4	【授業単元】GW課題共有 業界講話説明・事前準備 【到達目標】授業や現場実習の大切さを理解し、方法を学びヘアメイクに向けて意欲を高めることが出来る					5点	
5	【授業単元】職業理解を深める ベルリンピックについて役割確認 【到達目標】コース選択に伴い、職業の区別をつけることが出来る 目指すヘアメイクについて学び、職種ごとの業界内容、技術内容を理解することが出来る						
6	【授業単元】現場実習の必要性を学ぶ 業界講話振り返り 中間テスト説明 【到達目標】現場実習の流れやルールを理解し、実習に必要な社会的マナー・主体性・コミュニケーション力を身につけることが出来る 現場実習を通じて将来像に近づくスキルアップということを理解する						
7	【授業単元】中間テスト ベルリンピック事前準備 12年交流会について 【到達目標】中間テストを通じて、今まで学んだ知識を確認することが出来る 目標の振り返り、明確化をし、ステップアップすることが出来る ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り					20点	
8	【授業単元】ヘアメイク研究① コミュニケーションゲーム 【到達目標】自分の好きなヘアメイクのテイストを調べ、自己表現できる世界観を探すことが出来る ティストを共有し、自己アピールできるシートを完成することが出来る 現場実習への準備が出来るようになる						
9	【授業単元】ヘアメイク研究② ベルリンピックについて 【到達目標】ヘアメイク研究①で作成したシートを共有し、よりヘアメイクのテイストを知ることが出来る 振り返りから、ヘアメイクに向けて意欲を高めることが出来る						
10	【授業単元】将来のビジョンを組み立てる 【到達目標】将来の夢に向けて自分に足りないこと見出し、今後のビジョンを組み立てることが出来る 実現シートを作成し、目標に向けて今やれることを明確化出来る						
11	【授業単元】スチール撮影の流れ・必要性を学ぶ ベルリンピック・JESCメイク検定について 【到達目標】スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る 就職活動時に必要な自己表現するブック作成に必要なスチール撮影の流れを把握し、発信力の大切さを理解することが出来る						
12	【授業単元】夏休み中の過ごし方を考える 【到達目標】学校のルールや夏休みの行動について再確認し、楽しく過ごせる計画を立てることが出来る 夏休み課題を理解することが出来る						
13	【授業単元】夏休み課題の振り返り 体験学習の目的 【到達目標】夏休み課題をグループで共有し、発表する力を身につけることが出来る 職種への不安を解消し、職業理解を深めるために体験学習の意図を理解し、主体的に授業に臨むことが出来る					5点	
14	【授業単元】後期授業の流れを知る 後期に向けて個人目標設定 定期試験について サービスマインド研修・業界講話にむけて準備する 【到達目標】スムーズに体験学習に臨む姿勢をつくる事が出来る 後期に向けて早期体制を整え、目標や目指す業種に対して自信とやる気を持つことが出来る						
15	【授業単元】定期試験 体験学習の振り返り 教務部長挨拶 【到達目標】振り返りから、不安要素を解決し、志望するヘアメイク業種・分野を絞ることが出来る 定期試験を通じて、半年間を振り返り、自身の成長を認めることが出来る					60点	
【特記事項】					【評価について】		
					●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点		
					●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)		
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。		

科目名 (英)	業界研究 I・II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける							
【授業を通じての到達目標】							
自身が将来進みたい分野の仕事のイメージつけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(事務所)						
2	【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる						
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(スチール・広告)						10
4	【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる						
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(映像系)						
6	【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる						
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り						20
8	【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる						
9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(ブライダル)						
10	【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる						
11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(フォスタジオ)						10
12	【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る フォスタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる						
13	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(サロン)						
14	【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事イメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる						
15	【授業単元】定期試験 振り返り						60
	【到達目標】ヘアメイクの仕事を一時的な視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Basic Make Design I		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤、大瀬、岡田、渡部、鈴木
学科・コース	ヘアメイク科		授業 形態	実習	総時間 (単位)	各60時間 各4単位	開講区分	前期
							曜日・時間	水曜1.2.3.4限、木曜1.2.3.4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
メイクの基本的な理論を理解し、フルメイクを行う為の基本的な基礎技術を学ぶ。 講師陣： 堤：外資系化粧品ブランドのメイクアップアーティスト、店舗マネージャーなどを歴任、現在はフリーのメイクアップアーティストとして活躍している。 岡田：外資系化粧品ブランドのメイクアップアーティスト、ビューティアドバイザーとして従事している。 渡部：外資系化粧品ブランドのメイクアップアーティスト、ビューティアドバイザーとして従事している。 鈴木：フランス最大手の外資系美容用品メーカーの化粧品ブランド部門に在籍しビューティアドバイザー兼、メイクアップアーティストとして活躍している。								
【授業を通じての到達目標】								
JESC検定合格を目指し、メイクを行う為の衛生や基本の技術を習得する。								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
Basic Make Up、メイクボックス一式								
回	授 業 概 要						テスト配点	
1	授業内容・規則・教材確認・テーブルセッティング・スキンケア手順							
2	ベース・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー実習							
3	リップメイク実習						5	
4	アイブロウペンシル、アイブロウパウダー実習							
5	アイシャドウ・ペンシルアイライナー・リキッドアイライナー・マスカラ実習							
6	シェーディング・チーク・ハイライト実習						5	
7	中間テスト(JESC検定内容でフルメイク45分)						20	
8	フルメイク40分、JESC検定規定内容に沿って身だしなみやセッティングのチェック							
9	フルメイク35分、JESC検定規定内容に沿って身だしなみやセッティングのチェック							
10	フルメイク30分、JESC検定規定内容に沿って身だしなみやセッティングのチェック							
11	JESC検定模擬フルメイク30分(検定同様に模擬試験を行う)						5	
12	スチール練習(スチール撮影へ向けて構成、練習)							
13	定期テスト内容練習①							
14	定期テスト内容練習②						5	
15	定期テスト(指定されたルックを時間内に完成させる)						60	
【特記事項】					【評価について】			
					●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
					●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Basic Make Design II		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	秋本、大瀬、鷺塚、渡部、永井
学科・コース	ヘアメイク科		授業 形態	実習	総時間 (単位)	各60時間 各4単位	開講区分	前期
							曜日・時間	木曜3.4限、金曜1.2.3.4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
<p>メイクの基本的な理論を理解し、フルメイクを行う為の基本的な基礎技術を学ぶ。</p> <p>講師陣：秋本：外資系化粧品ブランドのメイクアップアーティスト、マスメディアのヘアメイクにも広く携わる。 大瀬：外資系化粧品ブランドのメイクアップアーティスト、店舗の店長も務める傍ら、メイクの社員教育にも携わる。 鷺塚：結婚式場でブライダルヘアメイクとして従事している。 渡部：外資系化粧品ブランドのビューティアドバイザー、メイクアップアーティストとして従事している。 永井：ブライダルヘアメイク事務所に所属している傍らヘアメイクアーティスト、フォトメイクにも従事している。</p>								
【授業を通じての到達目標】								
JESC検定合格へ向けて技術トレーニングを行い、スチール撮影へ向けて基本の応用技術を習得する。								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
Basic Make Up、メイクボックス式								
回	授 業 概 要						テスト配点	
1	テーブルセッティング・スキンケアの手順とセルフメイク							
2	ベース・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー実習							
3	リップメイク実習						5	
4	アイブロウペンシル、アイブロウパウダー実習							
5	アイシャドウ・ペンシルアイライナー・リキッドアイライナー・マスカラ実習							
6	シェーディング・チーク・ハイライト実習						5	
7	中間テスト(JESC検定内容で45分フルメイク)						20	
8	骨格バリエーション(キュート・ツヤ)							
9	骨格バリエーション(クール・マット)							
10	骨格バリエーション(エレガント・セミマット)							
11	スチール撮影のデザインを考える(7月に実施されるスチール撮影に備えデザイン構成、練習)							
12	スチール練習(スチール撮影へ向けて構成、練習)						5	
13	定期テスト内容練習①							
14	定期テスト内容練習②						5	
15	定期テスト(指定されたメイクルックを時間内に完成させる)						60	
【特記事項】					【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Basic Hair Design I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井/大井/木本/中村/髭田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	各60時間 各4単位	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>プロフェッショナルの技術を身に付ける為の基礎技術と理論を習得する。 ブライダル、サロン、スチール撮影、舞台など、実際に現場で働く講師より現在のトレンドを学びながら、基礎の土台を固める。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>ベーシックなスタイルからトレンドのスタイルまで幅広く基礎技術を身に付け、サロンスタイルや現場実習に対応出来る力を習得する。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘア教材一式							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	道具説明、名称、ウィッグの扱い方、ピンング						
2	ピンング(ウィッグ)						小テスト10点
3	ピンング(ウィッグ合わせ)						
4	コテ巻き理論(ウィッグ)						
5	コテ巻き、ピンング(人頭)						
6	編み込み(ウィッグ)						
7	編み込み-halfアップ(ウィッグ)						
8	編み込み-halfアップ(ウィッグ)						中間テスト20点
9	タイトロープ、リボン、ハート等の小技アレンジ(ウィッグ)						
10	アレンジスタイル①(ウィッグ)						
11	スチール撮影練習(人頭)						
12	スチール撮影練習 ヘアメイク(人頭)						小テスト10点
13	アップスタイル(ウィッグ)						
14	アップスタイル(ウィッグ)						
15	アップスタイル(ウィッグ)						定期テスト60点
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	Basic Hair Design II		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大井/木本/中村/髭田/古里	
学科・コース	ヘアメイク科		授業 形態	実習	総時間 (単位)	各60時間 各4単位	開講区分	前期	
							曜日・時間	木・金	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)									
プロフェッショナルの技術を身に付ける為の基礎技術と理論を習得する。 ブライダル、サロン、スチール撮影、舞台など、実際に現場で働く講師より現在のトレンドを学びながら、基礎の土台を固める。									
【授業を通じての到達目標】									
ベーシックなスタイルからトレンドのスタイルまで幅広く基礎技術を身に付け、サロンスタイルや現場実習に対応出来る力を習得する。									
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】				
ヘア教材一式									
回	授 業 概 要						テ ス ト 配 点		
1	ピンング、一束、おだんご(ウィッグ)								
2	ピンング(人頭)								
3	ピンング、合わせ(ウィッグ)								
4	コテ巻き(ウィッグ)						小テスト10点		
5	コテアレンジ巻き/ツイスト、ストレートアイロン/ウェーブ巻き(ウィッグ)								
6	編み込み/熱処理(人頭)								
7	編み込みアップ(ウィッグ)								
8	編み込みアップ(ウィッグ)						中間テスト20点		
9	小技アレンジ、前髪、おくれ毛処理(人頭)								
10	アレンジスタイル②(ウィッグ)								
11	スチール撮影練習(人頭)								
12	スチール撮影練習 ヘアメイク(人頭)						スチール撮影本番小テスト10点		
13	アップスタイル(ウィッグ)								
14	アップスタイル(ウィッグ)								
15	アップスタイル(ウィッグ)						定期テスト60点		
【特記事項】					【評価について】				
					●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

科目名 (英)	浴衣着付け演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中澤・岡野・和田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>長きに渡り、着物着付け師・着物講師指導にあたり、自らも和装ブライダルの花婿・花嫁の着付けを手掛ける教員が冠婚葬祭の基礎知識をわかりやすく解説し、現代のニーズに応えられる上質の和装着付けを実施する。 基礎の浴衣から小紋の着付けまでを一人で着る自装を器具等を使用せず、どのような現場でも通用する技術を提供する。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
初伝の資格が取得できるようになる・・・器具を用いず手結びで結べるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
一般財団法人国際美容協会発行の[きもの着付け教本]使用							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 浴衣についての歴史や概要を理解する						
2	【到達目標】 ・浴衣の歴史を知る ・着物の名称を覚える ・着付け前の準備を覚える						
3	・下着の着付け、しまい方を覚える						
4							
5	【授業単元】 浴衣の着付けと帯結び						
6	【到達目標】 ・浴衣の着付けと帯結びができるようになる ・細帯の三段返しを理解する						
7							
8							100
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	ネイル演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	坂下・久家
学科・コース	ヘアメイク	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
本科目を受け持つ講師は全員検定取得者で講師としてのスタッフ育成・教員を務めた経験を有しており、ネイリストとしての基礎知識や接客を身につけている。							
【授業を通じての到達目標】							
ネイル知識やより実践的な接客・カウンセリング・技術を習得し、職業人として社会に貢献する事ができる							
						【授業外における学習】	
回	授 業 概 要						テスト配点
1	テーブルセッティング・教材説明しながら進めていく						
2	用具の準備①(削り・コットンスティック)						
3	マッサージとケア						
4	用具の準備②(エメリーボード面取り)						
5	エメリーボードの持ち方・ファイリングデモ(対面・横から)						10
6	相モデルでファイリング練習(右手は対面・左手は横から)綺麗に削るとこまで						
7	カラーリングデモンストレーション(対面・横から)						20
8	カラーリング対面と横から(右手は対面・左は横から)右手終わり次第左手						
9	①油分除去(表面からエッジ)						
10	②ベースコート(エッジ5本から表面5本)						
11	③カラーポリッシュ1回目赤(エッジ5本から表面5本)						10
12	④カラーポリッシュ2回目赤(表面5本)						
13	⑤トップコート(エッジから表面)						
14	カラーリング対面と横から(①～④)※相モデル交換						
15	ウッドスティック、ボトルネックの掃除						60
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Photo Shooting I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	東村 忠明
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法、細かくはディティールや質感の作り方を撮影までの過程を取り入れて実習します。</p> <p>講師経歴:美容サロンや一般企業に対するヘアメイク指導や、美容部員向けのメイク研修講師等を実施。特殊メイクやスチール撮影での講師経験もある。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、スチール用にモデルをヘアメイクできるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションA 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。						
2							
3	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションB 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。						10
4							
5	【授業単元】 イメージヘアメイク①A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
6							
7	【授業単元】 イメージヘアメイク①B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						20
8							
9	【授業単元】 イメージヘアメイク②A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
10							
11	【授業単元】 イメージヘアメイク②B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						10
12							
13	【授業単元】 ビジュアルコピーヘアメイク AB合同 【到達目標】 コピー元ビジュアルを再現するにあたり、研究とリサーチが十分か。 モデルに似合ったビジュアルになっているかが基準。						
14							
15	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。						60
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	メイク技術理論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤 里海
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BAとしてお客様に合ったご提案をする為に、現場対応が可能な技術を身に付ける。 * 外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。(堤 里海)							
【授業を通じての到達目標】							
現場に必要なタッチアップマナーやカウンセリング力、メイクアップ技術を身に付け、お客様一人一人に合った提案力を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、ファイル、鏡用雑巾							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 授業内容、ルール、テーブルセッティング確認、教材使用方法						
2	【到達目標】 店頭において必要な事前準備から、タッチアップにおいての細かいマナーを理解する。 メイクブランドをカテゴリ別にリサーチを行い、模写する。フェイスチャート練習。						
3	【授業単元】 SSトレンドメイクパターン① フェイスチャート練習						10
4	【到達目標】 今季トレンドを理解し、トレンドを落とし込んだフルメイクを40分で実施する。						
5	【授業単元】 SSトレンドメイクパターン② フェイスチャート練習						
6	【到達目標】 今季トレンドを理解し、トレンドを落とし込んだフルメイクを40分で実施する。						
7	【授業単元】 メイクブランドリサーチを行い、課題に沿ってタイム内フルメイク完成						20
8	【到達目標】 様々なメイクブランドから各自ブランドリサーチを行い、コンセプトや製品知識を修得し、モデルさんに似合わせたブランドメイクを実施する。						
9	【授業単元】 ラグジュアリーブランドリサーチを行い、課題に沿ってフルメイク完						
10	【到達目標】 様々なラグジュアリーブランドから各自ブランドリサーチを行い、コンセプトや製品知識を修得し、モデルさんに似合わせたブランドメイクを実施する。						
11	【授業単元】 オーガニックブランドリサーチを行い、課題に沿ってフルメイク完成						10
12	【到達目標】 様々なオーガニックブランドから各自ブランドリサーチを行い、コンセプトや製品知識を修得し、モデルさんに似合わせたブランドメイクを実施する。						
13	【授業単元】 トレンドメイク実施						
14	【到達目標】 今までにリサーチしたブランドのコンセプトや製品説明を行い、夏のトレンドメイクを40分で実施する。						
15	【授業単元】カウンセリングフルメイク①ニーズを引き出す。 【到達目標】カウンセリングを行いながらお客様のニーズを引き出したフルメイクを完成する。 フェイスチャートにてメイク提案をする。						60
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ブロースタイリング演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	鎌田優子 湯田美奈恵
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	通年
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師および美容学校で長く実務経験のある教員が担当 自分たちの持つイメージを伝えられるようなスタイリング・表現で、イメージ写真を具現化していくことを体得していく 自分の技術をアピールする力を身につけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
アイロン技術・ブロー技術・スタイリング技術の習得 作品撮りの基礎手順・技術を身につける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
C 003ウィッグ(ピンク台座)/クランプ/ドライヤー/カールアイロン/ストレートアイロン/デンマンブラシ/シザーケース/リングコーム/ダックカール/ピンクタオル2枚/延長コード/雑巾/エプロン/筆記用具/名札/油性マジック							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】ハンドドライ、カールアイロン技術の体得(平巻き・縦巻き・巻きつけ) 【到達目標】基本的なアイロン技術を知ることができる						
2	【授業単元】ハンドドライ、カールアイロン技術の体得(平巻き・縦巻き・巻きつけの復讐)(スパイラル巻き・毛先逃がし巻き・ストレートアイロン) 【到達目標】基本的なアイロン技術を習得することができる						
3	【授業単元】ハンドドライ、カールアイロン技術、ストレートアイロン技術の体得 【到達目標】自由自在にアイロンさばきができる						
4	【授業単元】中間テスト Pウィッグのカット、デンマンブラシによるワンレングスのブローの体得、シルエットの理解 【到達目標】ブラシの使い方を理解することができる						20
5	【授業単元】デンマンブラシによるワンレングスのブローの体得、ストレートアイロンによる波ウェーブ 【到達目標】デンマンブラシを使ってブローができる						
6	【授業単元】小テスト デンマン&ロールブラシによるワンレングスのブローの体得、ストレートアイロンによる波ウェーブ 【到達目標】ワンレングスをブローし、ブラシの違いを理解することができる						20
7	【授業単元】ロールブラシによるワンレングスのブロー、カールアイロンによる波ウェーブ 【到達目標】ロールブラシを使ってブローができる						
8	【授業単元】定期テスト スタイルの制作 【到達目標】ブロー、アイロン技術を取り入れ、スタイルを完成することができる						60
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	総合演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
2年生の学内コンテストを見学し、自身の1年後を具体的に想起させる							
【授業を通じての到達目標】							
コース選択後の自分と照らし合わせることで学習に対するモチベーションを高める							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	7月17日 【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】コンテスト見学の目的を理解する、本日の競技内容の説明						
2	7月17日 【授業単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する						
3	7月17日 【授業単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する、表彰式を見学し達成感について考える						
4	7月17日 【授業単元】コンテスト見学の振り返り 【到達目標】2年生のコンテストを見学し感じた事を書き出すことにより客観的に自分の考えを理解する						
5	7月18日 【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】本日の競技内容の説明						
6	7月18日 【授業単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する						
7	7月18日 【授業単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する、表彰式を見学し達成感について考える						
8	7月18日 【授業単元】コンテスト見学の振り返り 【到達目標】2年生のコンテストを見学し感じた事を書き出すことにより客観的に自分の考えを理解する						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ・2年生コンテスト見学は出席評価とする			

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
後期の学習のイメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	【授業単元】 スケジュール確認						
2							
3	【到達目標】 後期のスケジュールが理解できるようになる						
4							
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職課有働について・教材理解・教科書理解						
6							
7							
8	【到達目標】 後期の授業概要を理解し、これからの学びのイメージを持つ 自身が今後使用するヘアやメイクの教材について把握し、使用方法が理解できる						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 出席評価とする			

科目名 (英)	相互支援演習Ⅱ		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦	
学科・コース	ヘアメイク科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期	
							曜日・時間	集中	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)									
クラスの相互支援関係を構築する									
【授業を通じての到達目標】									
クラス替えをしたクラスメイトを理解することができる									
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】				
毎授業時に配布									
回	授 業 概 要						テ ス ト 配 点		
1	【授業単元】 相互理解プログラム								
2	【到達目標】 ・新たなクラスメイトの顔と名前を覚える ・コミュニケーションゲームを通して相互理解を深める ・自己紹介を通して自己開示を進める								
3									
4									
5	【授業単元】 サービスマインドを学ぶ								
6	【到達目標】 ・外部研修において、サービスマインドを学ぶ ・異質なものを認めることができる ・テーマパーク内にて、グループで相互理解を進めることができる								
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
【特記事項】					【評価について】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅱ (professional seminarⅡ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時間	水3限 木2限・3限 金2限・3限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクの業種・分野を理解し、自身の将来像を明確にすることができる 就職活動における基盤を作り、スムーズに実践できるようになる 主たる講師:美容室で美容師として従事後、本校に入職。美容師科通信課程担当・ヘアメイク科担任を勤める(今井)							
【授業を通じての到達目標】							
自己分析することができ、就職活動における基本的な履歴書作成ができるようになる 志望する業種・分野をしばることができ、インターンや現場実習に積極的に参加することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】後期の目標設定を行い共有することで、自己変革期に向けスタートをきる 【到達目標】前期を振り返り、後期の目標設定ができる クラスメイトを知り、コミュニケーションをとることができる						
2	【授業単元】業界理解を深める① 【到達目標】目指すヘアメイクについて学び、職種ごとの業界内容、技術内容を理解することができる						5点
3	【授業単元】業界理解を深める② 【到達目標】目指すヘアメイクについて学び、職種ごとの業界内容、技術内容を理解することができる						5点
4	【授業単元】履歴書の書き方【学歴・職歴・賞罰・資格】を知る 【到達目標】就職活動で履歴書を作成できるように基本的な記入の仕方が理解できる						5点
5	【授業単元】基本的な文章が作成できる 【到達目標】文章作成の基礎を身に付けることができる 「伝える力」の重要性を理解する						
6	【授業単元】自己評価と他者評価で自己認知を発見する 【到達目標】自分自身の価値観や、長所・短所を把握し、前向きに自らの在り方を評価することができる My情報の収集をし、自己認知することができる						
7	【授業単元】中間テスト 発見した自己認知を整理して採用試験用に精査する 【到達目標】My情報の整理をし、文章にすることができる 中間テストを通じて、履歴書作成の基本を理解することができる						20点
8	【授業単元】PR文章の作成方法を身に付ける 【到達目標】自己PRの目的、「伝える」JPRを整理し、自己肯定感を高めることができる						
9	【授業単元】履歴書に記入する自己PRを3パターン作成できる 【到達目標】職種や分野によってアピールポイントの違いを理解し、自分の強みを伝えることができる						
10	【授業単元】志望動機の書き方を身に付ける 【到達目標】志望動機の収集をすることができる 志望動機の目的、構成、「伝える」志望動機の書き方を理解することができる						
11	【授業単元】コンテストの目的や流れ、必要性を学ぶ 【到達目標】コンテストのテーマや目的、流れを理解できる 自己表現力や発信力の大切さを理解することができる						
12	【授業単元】コンテストの準備ができる 【到達目標】コンテストテーマや創作したい作品をイメージし、ウィッグにカラーリングをすることができる						
13	【授業単元】冬休み中の過ごし方を考える 【到達目標】学校のルールや冬休みの行動について再確認し、楽しく過ごせる計画を立てることができる 。冬休み課題(志望動機の作成など)を作成することができる						
14	【授業単元】冬休み課題の振り返り 就職活動の流れを知る① 【到達目標】冬休みの課題を振り返り、自分の進みたい職種を理解することができる 就職活動の流れを知り、就職に向けて準備をすることができる						5点
15	【授業単元】定期試験 就職活動の流れを知る② 教務部長挨拶 【到達目標】志望するヘアメイク業種・分野を絞ることができる 定期試験を通じて、1年間を振り返り、自身の成長を認めることができる						60点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	業界研究 I・II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける							
【授業を通じての到達目標】							
自身が将来進みたい分野の仕事のイメージをつけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(事務所)						
2	【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる						
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(スチール・広告)						10
4	【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる						
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(映像系)						
6	【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる						
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り						20
8	【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる						
9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(ブライダル)						
10	【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる						
11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(フォスタジオ)						10
12	【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る フォスタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる						
13	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(サロン)						
14	【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事イメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる						
15	【授業単元】定期試験 振り返り						60
	【到達目標】ヘアメイクの仕事を一時的な視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	デッサン演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤・久保
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
デッサンやトレンドヘアなど、普段の学びを総合的に捉える							
【授業を通じての到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・デッサンで静物画がかけられるようになる ・トレンドのヘアスタイルが理解できる 							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 デッサン基礎						
2	【到達目標】 ・静物画を記入するための観察力を身につける						
3	・鉛筆と消しゴムの使い方を理解する						
4	・構図の種類を理解する						
4	・明暗と彩度・立体構図を理解する						20
5	【授業単元】 デッサン応用						
6	【到達目標】 ・空間の構成						
7	・遠近法について						
8	・静物画の完成						20
9	【授業単元】 トレンドヘアの歴史と現在						
10	【到達目標】 ・時代ごとに変遷してきたトレンドヘアについての学びを深める						
11	・現代のトレンドヘアについて、雑誌等を通して学ぶ						
12	・トレンドヘアについて、調べ学習を行う						
12	・デッサンの学びを基に、トレンドヘアをコンセプトシートに落とし込む						
13	・トレンドヘアの1つを相モデルで実践してみる						
14							
15							60
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	メンズスタイリング演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	鎌田優子 湯田美奈恵
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場でのヘアセットの基礎を習得する。卒業後に学校で学んだ基礎があることで即戦力になることができる。 主たる講師:美容室で美容師として従事しながら、本校で講師を勤める							
【授業を通じての到達目標】							
メンズスタイリングとレディーススタイリングの違いを知り、使用する道具の用途を使い分け、現場実習に生かすことが出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	メンズスタイリングとレディーススタイリングの違いを知る						
2	スタイル別ヘアセットの解説						
3	スタイリングベースづくり(ウィッグ使用)					20点	
4							
5	アイロンを使用したスタイリングづくり					20点	
6							
7	ヘアスタイリング剤を使用してスタイル別ヘアセット					60点	
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ブロースタイリング演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	鎌田優子 湯田美奈恵
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	通年
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師および美容学校で長く実務経験のある教員が担当 自分たちの持つイメージを伝えられるようなスタイリング・表現で、イメージ写真を具現化していくことを体得していく 自分の技術をアピールする力を身につけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
アイロン技術・ブロー技術・スタイリング技術の習得 作品撮りの基礎手順・技術を身につける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
C 003ウィッグ(ピンク台座)/クランプ/ドライヤー/カールアイロン/ストレートアイロン/デンマンブラシ/シザーケース/リングコーム/ダックカール/ピンクタオル2枚/延長コード/雑巾/エプロン/筆記用具/名札/油性マジック							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】ハンドドライ、カールアイロン技術の体得(平巻き・縦巻き・巻きつけ) 【到達目標】基本的なアイロン技術を知ることができる						
2	【授業単元】ハンドドライ、カールアイロン技術の体得(平巻き・縦巻き・巻きつけの復讐)(スパイラル巻き・毛先逃がし巻き・ストレートアイロン) 【到達目標】基本的なアイロン技術を習得することができる						
3	【授業単元】ハンドドライ、カールアイロン技術、ストレートアイロン技術の体得 【到達目標】自由自在にアイロンさばきができる						
4	【授業単元】中間テスト Pウィッグのカット、デンマンブラシによるワンレングスのブローの体得、シルエットの理解 【到達目標】ブラシの使い方を理解することができる						20
5	【授業単元】デンマンブラシによるワンレングスのブローの体得、ストレートアイロンによる波ウェーブ 【到達目標】デンマンブラシを使ってブローができる						
6	【授業単元】小テスト デンマン&ロールブラシによるワンレングスのブローの体得、ストレートアイロンによる波ウェーブ 【到達目標】ワンレングスをブローし、ブラシの違いを理解することができる						20
7	【授業単元】ロールブラシによるワンレングスのブロー、カールアイロンによる波ウェーブ 【到達目標】ロールブラシを使ってブローができる						
8	【授業単元】定期テスト スタイルの制作 【到達目標】ブロー、アイロン技術を取り入れ、スタイルを完成することができる						60
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	シャンプー演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	鎌田優子 湯田美奈恵
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場で一番に教わるシャンプーを学ぶことで美容師の仕事に触れる。入社後に学校で学んだ基礎があることで即戦力になることができる。 主たる講師:美容室で美容師として従事しながら、本校で講師を勤める							
【授業を通じての到達目標】							
美容の仕事をするための知識と実践を積み、即戦力となるサロンワークを習得することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
タオル5枚以上/ドライヤー/ジャンボコム/雑巾/シャンプー/トリートメント							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】シャンプー・トリートメント・リンスの意味を理解する 【到達目標】シャンプー剤、トリートメント剤の役割、成分を理解する/シャンプー台の使い方						
2	【授業単元】お客様に失礼のないシャンプーの準備の仕方を習得する 【到達目標】タオル・クロスのつけ方、お客様への声かけ方法/相モデルで髪の毛の濡らし方を						
3	【授業単元】シャンプーの流れを理解する 【到達目標】相モデルでシャンプーの流れ、洗い方を学ぶ/シャンプーの手順を覚える						
4	【授業単元】中間テスト トリートメントの仕方を理解する 【到達目標】ウェット、シャンプー、トリートメントを通して出来るようになる						20
5	【授業単元】マッサージの流れを理解する 【到達目標】ヘッドマッサージの技術、手順を覚える						
6	【授業単元】小テスト ヘッドスパの流れを理解する 【到達目標】ヘッドスパの手順を覚える/頭皮のツボを覚える						20
7	【授業単元】時間を意識した施術をする 【到達目標】目標タイム20分で施術が出来るようになる						
8	【授業単元】定期テスト 時間内に気持ちいい施術をする 【到達目標】目標タイム15分で施術が出来るようになる(ウェット・シャンプー・トリートメン						60
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	1年生コンテスト	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井香菜子 及川美波 吉田映梨子 阿部和彦					
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期					
						曜日・時間	集中					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)												
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する												
【授業を通じての到達目標】												
ウィッグを対象に、コンセプトどおりの作品を表現する												
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】								
毎授業時に配布												
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点						
1	【授業単元】 コンセプト作成及び仕込み											
2												
3												
4												
5												
6						【到達目標】 テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む コンセプトをもとに、必要な材料をそろえる						
7												
8												
9												
10												
11	【授業単元】 コンセプト発表											
12												
13						【到達目標】 コンセプトシートを基に、ウィッグにヘアメイクを施す 制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う						
14												
15												
											100	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。								

科目名 (英)	きもの着付け演習(初傳)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中澤・岡野・和田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>長きに渡り、着物着付師・着物講師指導にあたり、自らも和装ブライダルの花婿・花嫁の着付を手掛ける教員が冠婚葬祭の基礎知識をわかりやすく解説し、現代のニーズに応えられる上質の和装着付を実施する。 基礎の浴衣から小紋の着付までを一人で着る自装を器具等を使用せず、どのような現場でも通用する技術を提供する。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
一人を着る着付けが出来る→小紋の着付けと名古屋帯の一重太鼓の帯結びができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
一般財団法人国際美容協会のきもの着付け教本							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	着付け前の着物の準備の仕方を覚える(小紋の着付け)						
2							
3							
4	帯結び名古屋帯の準備の仕方から一重太鼓の結び方					中間テスト 20	
5							
6						小テスト 20	
7	帯あげ帯じめまで鏡を見ないでできるようにする					定期テスト 60	
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ファッション講座	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	若井 りさ
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクに必要なファッションやトレンドを理解する。 ※美術学科卒業後、広告宣伝業務に携わる。その中でファッションコーディネートについての業務も実施。							
【授業を通じての到達目標】							
基本知識を活用し、トレンドを取り入れたコーディネートができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】授業概要理解 【到達目標】ネクタイの結び方(2種)を体得する。授業概要を理解する。						
2	【授業単元】自分に似合う色と柄を知る①(テキスタイル表) 【到達目標】布見本を用いて、自分に合う物を考察する。						
3	【授業単元】自分に似合う色と柄を知る② 【到達目標】布見本を用いて、自分に合う物を考察する。						
4	【授業単元】中間テスト 帽子の正しいかぶり方 【到達目標】帽子の種類(由来やかぶり方)を理解する。						20
5	【授業単元】クローゼットに眠っている物を活用する方法 【到達目標】シルエットを考察し、着方を発見する。						
6	【授業単元】小テスト 新しい考え方のポイントを知る 【到達目標】ストリートファッションとは。ユニバーサルデザインとは。新素材や形の扱い方を理解する。						20
7	【授業単元】黒い服と白い服① 【到達目標】バランスをとる方法を理解する。						
8	【授業単元】定期テスト 【到達目標】4種のトレンドマップを提出する。						60
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	Basic Hairmake Design I		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大井/木本/中村/髭田/古里
学科・コース	ヘアメイク科		授業 形態	実習	総時間 (単位)	各60時間 各4単位	開講区分	後期 木・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
<p>プロフェッショナルの技術を身に付ける為の技術を習得し、応用力を引き上げる。 ブライダル、サロン、スチール撮影、舞台など、実際に現場で働く講師より現在のトレンドを学びながら、基礎の土台を固める。</p>								
【授業を通じての到達目標】								
<p>教材を駆使し、クオリティーの高いスタイルを作れるようになる。</p>								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
ヘア教材一式								
回	授 業 概 要						テ ス ト 配 点	
1	ホットカーラーの特性と巻き方(ウィッグ)							
2	ホットカーラーを用いてスタイル作り(ウィッグ)							
3	逆毛の特性、理論、スタイル作り(ウィッグ)							
4	すき毛の特性、スタイル作り(ウィッグ)						小テスト10点	
5	すき毛有り、合わせスタイル(ウィッグ)							
6	本夜会(ウィッグ)							
7	テスト(ウィッグ)						中間テスト20点	
8	カールアップ①(ウィッグ)							
9	カールアップ②(ウィッグ)							
10	カールアップ③(ウィッグ)							
11	バリエーションスタイル①(ウィッグ)							
12	バリエーションスタイル②(ウィッグ)						小テスト10点	
13	バリエーションスタイル③(ウィッグ)							
14	総復習とテスト練習(ウィッグ)							
15	定期テスト(ウィッグ)						定期テスト60点	
【特記事項】					【評価について】			
					<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	Basic Hairmake Design II		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤 里海
学科・コース	ヘアメイク科		授業 形態	実習	総時間 (単位)	各60時間 各4単位	開講区分	後期 水曜1.2.3.4限、木曜1.2.3.4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
メイクの基礎知識や様々なジャンルの技術を知り、現場や作品作りの応用力を身につける。								
【授業を通じての到達目標】								
メイクの基礎知識やジャンル別のメイク技術を身につける事により、様々な現場やコンテストに備える。								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
メイクボックス一式								
回	授 業 概 要						テスト配点	
1	クレンジング・スキンケアについて、骨格補正について							
2	色彩メイク(補色)							
3	色彩メイク(彩度)						5	
4	質感メイク "GLOW、～ウェット～							
5	質感メイク "GLOW、～パール～							
6	質感メイク "MATT、～ヌーディー～						5	
7	中間テスト: 質感別フルメイク						20	
8	フェイスチャート							
9	ウィッグメイク(ウィッグコンテストへむけて)							
10	テイスト別メイク①～つけまつげ～							
11	テイスト別メイク②～RED～						5	
12	テイスト別メイク③～SMOKY～							
13	和装メイク～水化粧～							
14	ウィッグコンテストへ向けて						5	
15	定期テスト: 模写フルメイク						60	
【特記事項】					【評価について】			
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	Basic Hairmake Design III	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井布弥
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	各60時間 各4単位	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実際に現場で働く現役のヘアメイクから、前期で学んだ基礎をより自分の技術としておとしこみ、ヘアとメイクを円滑に同時におこなう時間の管理、工夫を学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアとメイクを60分で仕上げる事ができる、そして1年生のまとめでもあり、初のコンテスト。ウィッグコンテストに向けて、基礎技術クオリティの向上。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	Hair&Make(ナチュラル)						
2	Hair&Make(ナチュラル)						
3	Hair&Make(エレガント)						
4	Hair&Make(エレガント)						
5	Hair&Make(似合わせ)→ナチュラルorエレガント						
6	中間テスト予行練習						
7	中間テスト						20
8	Hair&Make(クール)						
9	Hair&Make(クール)						
10	Hair&Make(キュート)						
11	Hair&Make(キュート)						
12	ウィッグコンテストヘア人頭&Make						10
13	ウィッグコンテストヘア人頭&Make						10
14	定期テスト予行練習						
15	定期テスト						60
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術 I (BR)	必修 選択	選択必須	年次	1	担当教員	木本ルミ子
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実際にブライダルの現場で施術を行っている講師より現在のトレンドや現場での立ち振る舞いなどを体験談を交えながら伝えることにより学生がブライダルヘアメイクという職業をイメージしながらヘア・メイク・ドレスフィッティングを学ぶことが出来る。							
【授業を通じての到達目標】							
ブライダルヘアメイクという仕事、役割を理解したうえで必要な基本的な技術を得てスタイリング出来るようになる。 また衣装や小物についての知識を学びドレスフィッティングができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	座学 :「ブライダルヘアメイクの仕事内容・役割とは」 / 実習:「ドレス・小物について」						
2	トレンドブライズヘア :ゆるふわヘアとフラワー・ビジュアヘッドアクセサリー						小テスト 5点
3	トレンドブライズメイク :ツヤ肌ふんわり愛されメイク						
4	王道ブライズヘア :面系キレイめヘアとティアラ・ボンネヘッドアクセサリー						
5	王道ブライズメイク :セミマット エレガント大人メイク						小テスト 5点
6	ドレスフィッティング・アテンド :ドレスの種類、着せ方・小物の合わせ方						
7	セルフ撮影後半 :ヘアメイク・ドレス・小物をコーディネートして花嫁を作り上げ撮影する(施術orモデル)						
8	セルフ撮影前半 :ヘアメイク・ドレス・小物をコーディネートして花嫁を作り上げ撮影する(施術orモデル)						中間テスト 20点
9	披露宴スタイル ヘア :カラードレスに合わせてハーフアップ、編み下ろし系ヘアアレンジ						
10	披露宴スタイル メイク :ドレスとヘアに合わせたブライズメイク						
11	和装ヘア :今どきの和装ヘアと和飾り						小テスト 5点
12	和装メイク :今どきの和メイク、洋装との違い						
13	ドレス似合わせヘアアレンジ :ドレスのイメージに合わせたヘアアレンジ						小テスト 5点
14	ドレス似合わせメイク :前回のドレスとヘアアレンジに合ったメイク						
15	定期テスト :課題を時間内で施術する						定期テスト 60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅰ(スクール)	必修 選択	60	年次	1	担当教員	長濱・東村
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
基礎学習と並行して学ぶ応用も含め、どのように実践現場で活用していくかを学びます すでにある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法をジャンル別に実習します							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマをもとに女性像やスタイルを自ら提案、プレゼンができるようになる。 自己判断的にならず、ヘアメイクをヘアメイクを通してクライアントや第三者が見ても共感を得られるようなビジュアル作りを目標とします							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	デモンストレーション 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認する						
2	イメージチャートを基に女性像が伝わるメイクアップを身につける 肌の質感、色の表現を広げる						
3	イメージチャートを基に女性像が伝わるヘアスタイリングを身につける 髪の質感、アイロンワークの幅を広げる						
4	イメージチャートを基に女性像が伝わるヘアメイク、トータルバランスを身につける 髪の毛や肌の表現をできるようにする						小テスト 5点
5	ブローエクステを使いヘアスタイルのバリエーションを研究、オリジナリティーあるヘアスタイルを						
6	フォトコン作品などからアイデアを研究し、独創性のあるヘアメイクにチャレンジする						小テスト 5点
7	中間テスト						中間テスト 20点
8	ヘアメイク基礎 ナチュラル 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習する						
9	ヘアメイク基礎 エレガント 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習する						
10	ブロー&アイロンワークを学習する						
11	ブロー&アイロンワークを学習する						
12	ヘアメイク基礎 似合せ 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習する						
13	ヘアメイク基礎 似合せ 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習する						小テスト 10点
14	定期試験						定期試験60点
15	1 から 1 4 回までの授業を振り返る						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点) / B評価(80~89点) / C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失) / F評価(0~59点・不合格)			

科目名 (英)	特殊メイク演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>普段、撮影や収録現場で制作会社や編集からのリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。 その中でも、特殊メイクに特化した授業を行う。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>血のり等を利用し、特殊メイクを仕上げる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】特殊メイク基礎Ⅰ 【到達目標】キズ、アザの基本・色・位置等を学ぶ。古傷の作成。						
2	【授業単元】特殊メイク基礎Ⅱ 【到達目標】古傷の作成(完成まで)。火傷等の基本・色・位置等を学ぶ。						
3	【授業単元】特殊メイク基礎Ⅲ 【到達目標】パテ等を利用した立体的な傷を学ぶ。						
4	【授業単元】中間テスト ドラマ・映画ヘアメイクⅠ 【到達目標】映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の基礎を学ぶ。						20
5	【授業単元】ドラマ・映画ヘアメイクⅡ 【到達目標】映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の応用を学ぶ。						
6	【授業単元】小テスト イベントヘアメイクⅠ 【到達目標】イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの基礎学習。						20
7	【授業単元】イベントヘアメイクⅡ 【到達目標】イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの応用学習。						
8	【授業単元】定期テスト 【到達目標】血のり等を使用し、手早くリアルな傷を作る。						60
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			